



# #彩の国けんけつ NEWS !!

第5号  
～2019年夏～

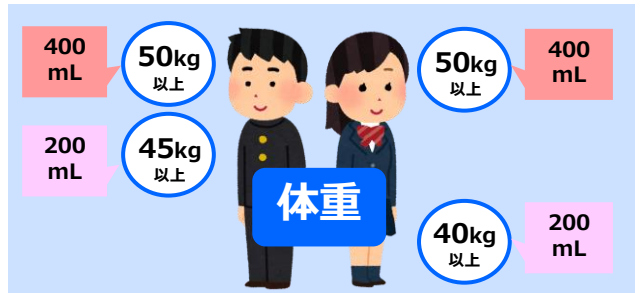
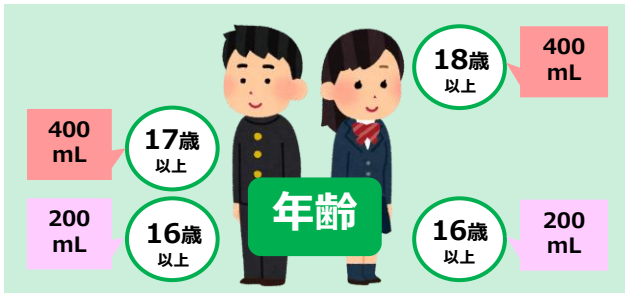


## テーマ：世界の献血☆



みなさんは、献血についてどのくらい知っていますか？  
これまで、献血についてかなり細かいところまで紹介してきましたが、今回は視点を変えて、世界の  
献血について紹介していきます！これを機にもっと献血について興味をもってくれたらうれしいです。

### ★まずは、日本の献血基準についておさらい！（全血献血の場合）



### Q. なぜ男女で献血できる年齢や体重、回数が違うの？

A. 一般的に体内を流れる血液の量は、男性で体重の約8%、女性で体重の約7%と言われており、血液量が男女によって違うからです。例えば体重50kgの方でも、男性は約4,000mL、女性は約3,500mLの血液が流れています。ちなみに医学的にみて循環血液量の15%以内が急速に失われても血液の循環動態には影響がないことが報告されていますので、体重50kg以上の方であれば、男性600mL、女性525mLまでの採血は問題ないことになります。

写真引用：  
Towards 100%  
Voluntary Blood  
Donation  
(World Health  
Organization)



ではでは、  
海外は  
どうでしょう？

裏面へGO！








★海外と日本の献血、  
比べてみました！  
(全血献血の場合)

日本と海外、  
だいぶちがう！



参照:

- American Red Cross <https://www.redcrossblood.org/donate-blood/how-to-donate/eligibility-requirements.html>
- COUNCIL RECOMMENDATION of 29 June 1998 on the suitability of blood and plasma donors and the screening of donated blood in the European Community (Official Journal of European Communities)
- Singapore Red Cross Society <https://www.redcross.sg/give-blood/can-i-donate-blood.html>
- Korean Red Cross [https://www.redcross.or.kr/eng/eng\\_activity/activity\\_blood\\_donoreligibility.do](https://www.redcross.or.kr/eng/eng_activity/activity_blood_donoreligibility.do)
- 我が国の献血の現状と課題 松坂俊光 (日本輸血細胞治療学会誌 第59巻 第5号) 2013年

	1回の採血量	年齢		体重	採血間隔	年間総量
日本 	200mL(男)	16~69	※65~69歳までの方は、60~64歳までに献血の経験がある方に限られる	45kg	4週間	1.2L
	400mL(男)	17~69		50kg	12週間	
	200mL(女)	16~69		40kg	4週間	0.8L
	400mL(女)	18~69		50kg	16週間	
アメリカ 	1 pint = 約473mL	17~ 上限なし!!	※16歳は州によっては保護者の同意書があれば可能	50kg	8週間	50-80kgは12.0Lまで 80kg以上は14.4Lまで
EU 	現在28か国! 上限500mL	18~65	※国の法律によっては17歳も考慮	50kg	8週間	3.0L
シンガポール 	350mL	16~60	※16・17歳は保護者の同意書が必要	45kg	12週間	(1.8L)
	450mL			50kg		
韓国 	320mL(男)	16~69	※65~69歳までの方は、60~64歳までに献血の経験がある方に限られる	50kg	8週間	1.6L
	320mL(女)			45kg		
	400mL	17~69		50kg	8週間	2.0L

日本は、男女で区別されているけれど、欧米は体重で区別されているんだね!



…実は日本でも、「預血」制度があったんです!

昭和56年までの献血手帳(↓)には、献血した回数  
の欄と医療機関での使用本数の欄がありました。

現在は、みなさんの献血により、安定して血液が届けられるようになり、「預血」制度はなくなったのです。



「あなたやあなたのご家族が輸血を必要とされるとき、この手帳で輸血が受けられます」



「献血記録欄」

「供給記録欄」

参照: The Korean Journal of Blood Transfusion Vol. 25, No. 1, 1-9, April 2014 "The Past, Present and Future of the Blood Pre-Deposit System in Korea"  
Dong Hee Seo, Deokja Oh, Hyun Ok Kim  
Korean Red Cross [https://www.redcross.or.kr/eng/eng\\_activity/activity\\_blood\\_introduction.do](https://www.redcross.or.kr/eng/eng_activity/activity_blood_introduction.do)

★編集後記

今回のテーマは「世界の献血」ということで、外国の献血についても説明してきましたが、日本と外国の献血の違いが分かり、さらに献血について興味を持っていただけたでしょうか? 献血には男女の違いだけでなく、国によっても様々な違いがありましたね! この新聞を読み、さらに献血について理解していただけていたら幸いです! 最後まで読んでくれてありがとうございました! これからも献血ご協力よろしくお願いします♪



はげみになります!  
感想やリクエストはこちらまで!  
埼玉県赤十字血液センター  
総務課企画係  
st-kikaku@ktkb.bbc.jrc.or.jp



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

埼玉県赤十字血液センター

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.

